

第 17 回ジャパン・インターナショナル・シーフードショー親子おさかな学習会

親子おさかな学習会は、おさかなゼミ、タッチプール、スタンプラリー、ブース見学・試食といった盛りだくさんの内容となりました。親子向け学習会は今回で 3 年目になりましたが、初の試みとしておさかなゼミを小学校低学年向け（1～3 年生）と高学年向け（4～6 年生）に分けて実施しました。

8 月 19 日の高学年向けおさかなゼミでは千葉県立中央博物館・分館海の博物館の川瀬主任上席研究員から「東京湾に暮らす魚たちの生態」の内容で講演が行われました。普段見る事のない東京湾の海中の様子や、海底のミステリーサークルの謎を解く映像も見ることが出来、親子で魚の不思議な生態を知る機会となりました。

一方、8 月 20 日の低学年向けおさかなゼミではおさかなマイスターでもある中部水産㈱の神谷部長に講師をお願いしました。煮干しを使ったおさかなゼミでは、子どもたち自ら煮干しの解体を行い、魚の頭の構造や体の中の様子を観察するとともに、魚の骨の構造や進化について学習することが出来ました。

会議棟内の会議室で行ったおさかなゼミ終了後は、東 5・6 ホールのシーフードショー会場へ移動し、親子で自由に会場内を見て回ってもらいました。

タッチプールではサメ、タコなどの他、今話題のオオグソクムシもいて自由に触ることが出来ました。また、水槽ではアジなどの魚の動きを観察することが出来、子どもたちは興味深そうに生き物たちに接していました。

スタンプラリーでは、スタンプ設置協賛ブースが昨年度の 9 か所から 10 か所に増え、大日本水産会のスタンプも併せると計 11 か所になりました。子どもたちはスタンプラリー終了後、協賛企業・団体から提供していただいた景品をお土産にもらい喜んでいました。

参加親子数は 19 日、20 日どちらも 100 名以上となり、参加した方からは「とても楽しかった」、「来年も参加したい」との感想を聞くことが出来ました。

小学校高学年（4・6 年生）
向けの「おさかなゼミ」



保護者の方も熱心に聞いて
います。



低学年向けは「煮干しの
解体ショー」を中心とした
お話です。



